

とし子の会

松倉とし子後援会

第14回 松倉とし子

Spring Concert

～光よぶ歌の祭典～



2024

4/21

[日]

開場 15:30

開演 16:00



篠崎 仁美

パレスグランデール

[本館2F エアルアンデイス]

チケット

12,000yen

(お食事・ワンドリンク付き)

■お問い合わせ 090-5590-0670 [とし子の会] 山形支部長 谷口



ベイビーブルー

松倉 望

佐藤 匠悟

Program

唄・古き良きアメリカ テネシーワルツ / ケセラセラ
唄の花束 アメリカンフィーリング / Puff ほか



Profile



松倉とし子 (ソプラノ)

オペラ「フィガロの結婚」(スザンナ役)でデビュー後、数々のオペラの主役を演じる。作曲家中田喜直に「日本歌曲を歌うのに大切なものを全て具える」と高く評価され、氏の歌曲、抒情歌、童謡の多くをレパートリーとして、2000年5月に同氏が亡くなる直前まで全国でコンサート活動を共にしたほか、多数のCDを制作。音楽誌上で高評価を受けながら、サントリーホール、カザルスホールなど多数のホールでリサイタルを継続。年間80回に及ぶ演奏活動をこなす。

中田喜直が松倉とし子の声に合わせて作曲した「金子みすゞ詩による童謡歌曲集」は初演から大きな感動を呼び、同氏とのコンサートの中心プログラムとなり全国のホールから招かれ演奏を重ねた。東日本大震災以降は「こだまでしょうか」を求める声が増えている。2001年6月にはウィーン楽友協会ホールでの中田喜直作品コンサートに出演。世界中に「金子みすゞの心」を広げながら、NHK-TV「金子みすゞに捧ぐ・松倉とし子音楽ファンタジー」「みんなの童謡」、NHK-FMへの出演で全国のファンに優しい歌声を届けている。

“「中田喜直・松倉とし子・ボニージャックス」3つの心のハーモニー”コンサートをスタートさせてから、ボニージャックスとのステージは数多く、レパートリーは童謡からポップスまで幅広い。

故郷やまがたでは、楽しい話をはさみながらのディナーショーや、スイートコンサート、自在なピアノアレンジによる歌声茶論など、多種多様なステージを重ねている。また、中田喜直氏とスタートさせた「童謡の日コンサート」は2018年夏に25回目を開催し、その模様がYBC山形放送にて放映された。

「第29回日本童謡特別賞」「NHK東北ふるさと賞」「山形県芸術文化協会賞」「山形市政文化功労賞」など受賞多数。2015年1月から毎週日曜日朝、YBCラジオ「松倉とし子うたの花束」がスタート。多くのリスナーに愛され、好評放送中。



ベイビーズ

「声」だけで魅せる唯一無二のコーラス・エンターテイメントグループとして2002年メジャーデビューし20年目を迎えた。2011年から新宿の「うたごえ喫茶ともしび」に通い始め、今までに「うたごえ喫茶アルバム」シリーズを「ともしび」監修のもと5作発売。オリジナル曲「花が咲く日は」が「うたごえ喫茶ともしび」の年間リクエストランキングで2年連続で1位を獲得し話題に。また、ボニージャックス、由紀さおり、五木ひろし、川中美幸のコンサートにもゲスト共演し、童謡100周年の2018年からは小田原童謡大使に任命されている。

近年はディズニー映画「ライオンキング」プレミアム吹替え版へのコーラス参加や、TVの音楽番組に多数出演し、「日本武道館で万人の大合唱祭を行う」という目標を掲げ、全国各地でコンサートを開催している。

2022年に最新両A面シングル「別れの曲」「列車にのろうよ」をリリース。

BS朝日「人生、歌がある」毎週土曜19時、NHK R1「らじるラボ」(2020年4月~2022年9月)にレギュラー出演中。



篠崎仁美 (ピアノ)

桐朋学園大学ピアノ科卒業後、ジャズピアニストの父、篠崎哲也の影響を受け、ポピュラーピアニストとしてデビューする。

1984年 クラシックアンサンブルで「蓼科高原音楽祭奨励賞」を受賞。

1987年 「NHK軽音楽オーディション」で自作の曲を弾き語り合格。

1988年 博品館劇場での劇団未来劇場公演でピアニスト兼女優として出演。

1991年 フジテレビ「さんまのあっぱれ大先生」に音楽の先生役で出演。

1996年 第26回「日本童謡賞特別賞」受賞。

2015年10月 自身のプロデュースによるニューアルバム「仁美のララバイ」を発表。

現在、歌って喋れるピアニストとして多彩に活躍中。繊細でダイナミックな演奏で聴衆を魅了する。

その多彩な活動は異色のエンターテイナーとして脚光を浴びている。



佐藤匠悟 (テノール)

山形市出身。山形県立山形南高等学校卒業。山形大学教職大学院修了。ウィーン国立音楽大学マスタークラスにおいてディプロマを取得。ディヒラーコンクールにて第1位を受賞。声楽を藤野祐一、V.ルキアネッツ、井ノ上了更、佐藤美枝子、菊池英美の各氏に師事し、A.コックス、阪哲朗、木下志寿子、小森輝彦の各氏に指導を受ける。

第41回全日本学生音楽コンクール東京大会声楽部門大学生の部入選。第33回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール声楽部門大学生の部第3位(1,2位なし)、山形大学学賞・学部長賞受賞。



松倉望 (バリトン)

山形市出身。山形県立山形東高等学校卒業。山形大学人文学部法経政策学科法律コースを経て、同大学院地域教育文化研究科文化創造専攻音楽芸術コース修了。

3歳からコンサートステージに立ち、童謡と日本歌曲を中心に演奏を重ねる。近年は山形県内外でオペラ公演等に出演しつつ、自らも演奏会を多数企画・出演している。

声楽を鈴木集、藤野祐一、深瀬廉の各氏に師事。木村善明、佐藤美枝子、小森輝彦の各氏に指導を受ける。